

男女共同参画推進フォーラム開催【宇都宮市】

個別事業費	2,440 千円
交付金額	1,000 千円

地域の実情と課題

- ・本市の生産年齢人口は、2017(平成29)年をピークに減少に転じている。男女別にみると、生産年齢人口(15歳～64歳)は、男性は10年間で6%減少しているのに対し、女性は9%減少しており減少率が高くなっている。
- ・10歳代、20歳代女性の首都圏へ転出超過の傾向が続いている。

目的・目標

- ・人口減少・少子化の急速な進行や若年女性の首都圏への転出超過などの背景にある固定的性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアスの解消を図り、女性がより一層活躍できる社会を築くため、G7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合によって高まった機運を継続できるよう、「男女共同参画推進フォーラム」の開催を通し、男女共同参画意識の醸成を図り、市民や企業経営者、地域団体等と連携して、各活動の場における実践につなげる。

事業の特徴

- ・テーマを「“思い込み”を手放し、誰もが活躍できる社会へ」とし、お笑い芸人 森三中の大島美幸さんをゲストに迎えたトークセッション、宇都宮大学男女共同参画室特任助教による男女共同参画を取り巻く状況や女性活躍推進の方向性についての講演、女性活躍の推進について考えるパネルディスカッション等を通して、市民・企業・地域等における男女共同参画意識の醸成と取組の推進を図った。
- ・会場では、本市及び男女共同参画推進団体の活動を紹介する企画展示を実施したほか、開催後の情報発信として、当日のアーカイブ動画の配信や当日の内容を分かりやすく編集したパンフレットを作成・配布した。

連携団体

- ・商工会議所や経済団体等
- ・宇都宮市男女共同参画推進連絡協議会(14団体)
(構成団体)宇都宮市女性団体連絡協議会、男女共同参画社会の実現を目指すうつのみや市民会議 ほか
- ・みやシャイン女性活躍推進協議会
(構成団体)女性活躍の推進に積極的に取り組んでいるさまざまな業種の企業、経済団体、学識経験者、行政で構成
- ・本市事業「男女共同参画推進事業者表彰」の受賞企業
- ・まちづくり協議会
- ・宇都宮市自治会連合会

事業の効果

- ・会場及びオンライン参加をあわせ、337名の参加により目標を達成できた。また、開催後のアンケートでは、回答者全員が、無意識の思い込みについて「理解できた」と回答した。その他、「参加により明日から自分にできることを行動しようという気持ちになったか」という質問には99%が「はい」と回答した。
- 以上のことから、広く市民の男女共同参画意識の醸成に寄与することができたと考える。

今後の課題

- ・引き続き、性別に関係なく誰もが活躍できる社会を実現するため、無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)や固定的性別役割分担意識の解消に向け、各世代や活動の場に応じた意識啓発に取り組んでいく。

事業の概要

男女共同参画推進フォーラム 「“思い込み”を手放し、誰もが活躍できる社会へ」

《開催日》

令和5年10月1日(日) 13:20～16:15

《会場》

ライトキューブ宇都宮 中ホール ※オンライン配信も実施

《内容》

○トークセッション 暮らしの中での思い込みに気づこう！

- ・男性が多数を占める「お笑い芸人」という業界で働く中で感じたジェンダーバイアスや仕事と家庭の両立で工夫していることなど
- ・森三中 大島 美幸氏

○基調講演・パネルディスカッション 一人ひとりの能力を発揮してさまざまな場で活躍しよう！

- ・G7栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合の共同声明において提唱された「女性の経済的自立」などを基に、男女共同参画を取り巻く状況についての講演や地域団体や企業など、各活動の場における男女共同参画に関する現状と課題、どのようなことを実践すれば女性活躍を推進できるのかを考えるパネルディスカッション

・基調講演・コーディネーター 宇都宮大学 特任助教 川面 充子氏

・コメンテーター 大島 美幸氏

- ・パネリスト 今泉地区連合自治会 会長・今泉地区コミュニティ協議会 会長 大森 幹夫氏
シーデーピージャパン株式会社 代表取締役社長 田村 篤史さん
石井小学校PTA会長 石井 由貴さん
宇都宮大学 学生

○グループトーク 男女共同参画の実現に向け自分たちができること～価値観アップデートのトレーニングをしよう！～

- ・普段“思い込み”によって思うように行動できないことや、それを解消するための方策等について

《参加者》

337名

《その他》

- ・当日会場において本市及び男女共同参画推進団体の活動を紹介する企画展示を実施
- ・開催後の情報発信として、当日のアーカイブ動画を作成し、市ホームページやYouTubeで配信するとともに、当日の内容を分かりやすく編集したパンフレットを作成し、市有施設や関係機関等で配布

《効果》

・会場及びオンライン参加をあわせ、337名の参加により目標を達成できた。また、開催後のアンケートでは、回答者全員が、無意識の思い込みについて「理解できた」と回答した。その他、「参加により明日から自分にできることを行動しようという気持ちになったか」という質問には99%が「はい」と回答した。



↑パネルディスカッションの様子



↑グループトークの様子